

令和3年度 児童発達支援 (事業者評価)

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			荷物置き場やトイレ等は文字とイラストで識別し、視覚でイメージできるようにしている。また、朝の会では1日の流れを絵カードで表示して説明することで見通しを持たせている。活動の間にはタイマーを鳴らして、切り替えができるように支援している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			活動によりテーブルやパーテーションを使用している。アルコールや次亜塩素酸等で消毒を行い、感染症対策に努めている。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		口頭での振り返りは都度必要に応じて行っている。PDCAに活用できる用紙を作成して、より良い支援に繋げていきたい。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向をミーティングで話し合い、改善に努めている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			2019年8月開所の事業所であるため、2020年8月に初回の公表を行った。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価者を設けていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ感染症対策もあり、外部研修の募集が例年に比べて少ない印象であったが、オンラインセミナーに参加する機会を設けた。今後も職員が講師役となって研修を行うなど社内研修も増やしていきたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者が見学をされた際に「見学対応シート」を用いてお子様の現状、悩み、希望をヒアリングしている。
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	児童個人に合わせた支援計画作成を行っている。標準化はされていない。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○	児童発達支援管理責任者が計画を作成しているが、他の職員との共有が十分とはいえない。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		知育遊び、運動遊び、戸外活動、制作などを組み合わせて実施している。また日や週ごとに内容を変えるようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		児童の発達段階に合わせた内容に変更して実施している。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りについては翌日に持ち越してしまうこともあるが、都度支援で気付いた点があれば指摘をするようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		サービス提供記録を毎日記入している。記録にあたっては交代で行い、複数の職員の視点で記録をするようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか			○	児童発達支援管理責任者が行っているが、今後は全職員がモニタリングできるようにしていきたい。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	健康支援センターや発達支援センター等の関係機関より紹介を受けた児童が事業所を利用している。しかし、入所後に経過等を共有する機会はない。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		/		医療的ケアが必要な児童が利用したことはない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		/		保育園や幼稚園等を併用している児童については、保護者を經由して、あるいは保育園の職員との電話で事業所での様子や児童の変化について共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		/		

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的実施されている連絡調整会議に参加しているが、今年度はコロナ感染症対策のため開催が見送られた回があった。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	事業所の近隣にある公園を利用している。遊具の共有等を行っている。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか			○	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳で事業所での様子、活動中に見られた児童の成長について報告している。また送迎時には職員が直接報告をしている。保護者からも連絡帳等で自宅での様子について報告を受けている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			保護者に同意を得て、児童発達支援管理責任者による定期面談を実施している。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には契約書、重要事項説明書の読み合わせを行っている。利用者負担については別途説明書類を用意して丁寧な説明をすることを心掛けている。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			連絡帳や、送迎時に保護者の相談に応じたり、アドバイスをお伝えしたりしている。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、保護者交流会や研修等を開催していきたい。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			連絡帳等で特記事項があれば、都度記録し、職員間で共有している。また、苦情受付担当者を設け、有事の時に対応できる体制を整備している。
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動の様子やお知らせ等をおたより等でお伝えしている。また、定期的にSNS(Instagram)を活用した情報発信を行っている。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の入ったファイルは事務室内にある鍵付き書庫に保管している。また、入社前の社員とは児童の個人情報取り扱いに関する誓約書を取り交わしている。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者に児童と普段どのようにコミュニケーションを取っているか確認し、家庭と連携した対応を行っている。発語のない児童においても、「楽しいね」「○○したいのかな?」といった形で気持ちを代弁し、意思表示に向けた支援を行っている。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナ感染症対策として、見学者を含む関係者以外の立ち入りを原則として行っていない。

区分	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			マニュアルは整備されている。より、実務に即した分かりやすい内容にすべく、フロー図を作成中である。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回避難訓練を行っている。2021年6月に避難訓練を実施した。次回は2021年11月を予定している。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時に「調査票」も合わせて記入を依頼し、成育歴や既往症等を把握している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			これまでに食品アレルギーのある児童の利用はない。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例があった場合はまずミーティングで報告し、所定の用紙に記入し保管している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			2020年10月に外部研修に参加し、研修内容を全職員で共有した。支援で気付いた点があれば、都度職員同士で指摘をしたり、悩みを共有したりしている。虐待防止委員会設置の準備を進めている。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			契約時に説明を行っている。必要に応じて、個別支援計画書の留意事項に記入している。